

2016年度清瀬青年会議所
専務理事運営方針



専務理事 松本 龍太郎

本年度、歴史と伝統ある清瀬青年会議所の専務理事という大変重要な役職を務めさせて頂き、身の引き締まる思いです。理事長をはじめとする全メンバーの期待に応えられるよう、一年間頑張ってお参ります。

私にとって専務理事とは、理事長の女房役でありLOM全体の運営をいかに円滑に出来るかだと捉えています。理事長の意志を受け止め、清瀬青年会議所の方向性を正確に理解し、情報共有が出来ていない方に対して詳しく説明し常に参加と協力依頼を皆様に呼び掛けて参ります。また、他団体との連絡の窓口となり、漏れの無い情報の発信を目指します。

メンバー同志の意思の疎通、信頼関係を築く事は専務理事を務める中で、非常に重要だと考えています。2016年度、清瀬青年会議所のスローガン「倦まず弛まず」の旗印の下、メンバーと共に青年会議所運動を行っていきます。しかし、途中悩み疲れて座ってしまうメンバーがいるかもしれません。その時は、率先して私が悩みを聞き、共に成長しながら、最後まで一緒に諦めないで走り抜けます。時に運営をしていく中で、厳しい言葉をメンバーの皆様に掛ける事があるかもしれません。しかし、強い絆がそこになければただの文句や悪口になってしまいます。少数精鋭で行う現状を考え、一人ひとりがお互いを助け合い、志を高く持ち行動する必要があります。楽をすることは誰でも安易にできます。いかに自らを厳しい立場に追い込みながらも、逃げずに責任を果たせるかが重要だと感じています。これが事積み重なり、自らの成長に繋がって行くのだと考えています。そして、困った時、悩んだ時は、JC宣言と今年度スローガンに立ち返り職務を遂行して参ります。

現在、清瀬青年会議所は、会員の減少により存続の危機にあります。「会員拡大」、これも組織の活性化と安定には必要不可欠です。拡大にゴールはありません。メンバー全員で会員拡大について真剣に考え、取り組まなくてはならない時期に来ております。危機感を全員で持ち、現状を打開して、魅力ある自分、魅力ある団体にまず私達になり、楽しく、厳しく、自己の鍛練を日々行いながら多くの人を巻き込み、様々な人達に感動を与える事ができる青年会議所活動を行って参りたいと思っております。

最後に、メンバー全員が他者の気持ちを考えて、助け合いの精神を持ち、本音で言い合える強い絆と信頼で結ばれた清瀬青年会議所を目指して参ります。至らない部分が多々あると思いますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。